

# 『魚仙水族写真』『魚介図』『魚類譜』絵図細目

## 氏家幹人

本稿は、奥倉辰行（一八五九年没 享年未詳）の魚類画集『魚仙水族写真』および長谷川雪旦（一七七八—一八四三）等の自筆画集『魚介図』『魚類譜』（三点とも当館のみ所蔵）の絵図細目であり、それぞれの図に添えられた魚介類の名称や解説文を翻字したものである。なお三点の資料に収録されている図の大多数は、肉筆の緻密な彩色画だが、なかに簡単なスケッチや未完成の図も含まれている。三点とも成立年は未詳。

『魚仙水族写真』は上下二冊（請求番号 一九七—一五七）。表紙の大きさは共に縦32・0cm、横42・8cm。上下冊とも、魚類の図を貼り付けた台紙を綴じている。数ヶ所に「辰行」「字園」「森氏」の印記のある蔵書印（朱印）が押されており、本書が著者の奥倉辰行（字園）から森立之の手に渡ったことが知られ、また「明治十一年購求」「太政官文庫」の印が押されており、明治十一年（一八七八）に森立之の旧蔵書を内務省図書局が購入し、太政官文庫を経て内閣文庫の蔵書となった経緯が判明する。ほかに明治九年に新刻された内務省図書局の蔵書印「大日本帝国図書印」も押されている。

奥倉辰行は、江戸の神田多町で青物商を営んでいた町人で、通称は甲賀屋長右衛門。字は字園、

魚仙と号した。生年未詳。辰行は、弘前藩御用達の米屋津軽屋の養嗣子で家業のかたわら書物の蒐集と書誌的研究に努めた狩谷棧斎（一七七五—一八三五 名は真末、真秀、津軽屋三右衛門と称し、棧斎のほかに六漢老人、求古楼などと号した）に画才を認められ、その助言で魚類の絵を描くようになったという。

『魚仙水族写真』のほか『水族四帖』『魚仙新説』『水族写真 鯛部』等の著があり、このうち『水族四帖』は、春夏秋冬を四帖に分けて魚類の彩色図を収録。『水族写真 鯛部』は、「鯛」の名がつく魚九十種を描いた彩色図を多色刷りにしたもので、安政二年（一八五五）から同四年にかけて三種の図譜が、安政四年に別冊の注釈が出版された。当初は「鯛部」以外の出版も予定されていたというが、実現しなかった。

森立之（一八〇七—一八八五）、字は立夫、号は枳園、醒齋ほか。備後福山藩主阿部氏に仕えた医師で、医学のほか本草（漢方の薬学）博物学に造詣が深く、また渋江抽斎らと漢籍貴重本の解題目録である『経籍訪古志』を編纂した功績で知られる。抽斎と共に狩谷棧斎の門下で、奥倉辰行の著作である本図譜が森の手に渡ったのは自然の流れであるろう。森は、維新後文部省や大蔵省に出仕したのち、明治一八年（一八八五）に七九歳で病死した。

当館は、『経籍訪古志』のほか彼が編集した『華鳥譜』『半魚譜』等も所蔵している。

『魚仙水族写真』には七二〇点以上の図が収録されているが、そのなかには、奥倉辰行自筆の写生ばかりでなく、『随観写真』（本草学者の後藤梨春 一六九七—一七七七）が著した動植物図譜（等から転写した図がすくなくないことが指摘されている（磯野直秀『日本博物誌年表』）。図の解説でも、『三才図会』『皇和魚譜』『食療正要』。物品識名『湖魚図説』。啓蒙（本草綱目啓蒙か）』ほか本草学関係の参考文献が用いられており、あわせて本書がたんなる趣味的な画集でなかったことが分かる。自身の見聞を「辰行云」として述べるほか、「船八シ人云」「沼田人云」「三河或人云」と各地の人々から得た知識を紹介し、また日本各地の方言（魚の呼び名）が記されているのも興味深い。

『魚介図』は、全一帖（請求番号 一九七—四五）。表紙の大きさは縦30・0cm、横21・7cm。描かれている魚類図は肉筆で、「於豆州修禅寺村以写生之」「於勢州宮駅写」「肥前蛭ヶ浜ニテ写」「芸州広島ニテ写」など、写生した場所を付記したものの、あるいは「天保三年辰十一月写」のように写生の年月を記したものが含まれている。ほか

に「於大坂雪旦写」「雪堤写」など筆者が明記されている例があることから、本書が絵師の長谷川雪旦やその長男の長谷川雪堤（一八一三—八二二）によって編まれた画集であることが分かる。また「大日本帝国図書印」「太政官文庫」の蔵書印が押されていることから、内務省図書局、太政官文庫を経て、内閣文庫の所蔵資料となり今日に至った経緯が辿れる。

収録されている図の制作時期については、「貞享二乙子林鐘晦以生写之」（貞享二年 一六八五—六月晦日に新鮮な状態のものを写生したという意味であろう。なお貞享二年の干支は正しくは乙丑）のように、雪旦の誕生前の年号も含まれ、これらは既にある図を模写したと推測せざるをえない。事実「古画図模之」と注記した点の図もあり、既製の図の模写がすくなくならず収録されていると考えられる。魚類のほか「人魚」や「龍」の図が収録されているのは、本書が博物学的な画集であるというより画業の資料として編まれたことをうかがわせる。

長谷川雪旦、名は宗秀、通称は茂右衛門また長之助とも称した。雪旦のほかは雪秀、一陽庵、巖岳斎、岳斎などの号が知られている。江戸の人で、下谷三枚橋に住み、絵師になる前は彫刻大工をしていたと伝えられている。長谷川雪嶺に師事して町絵師として活躍した後、肥前唐津藩主小笠原家の御用絵師に、「魚介図」にも、唐津侯小笠原家の重宝である龍図の模写図が収録され、文政五年（一八二二）八月上旬に唐津の地で雪旦が模写した旨が記されている（「於唐津雪旦模之」）。

唐津藩御用絵師長谷川雪旦。しかし雪旦の名声

を高めた作品はなんといっても『江戸名所図会』の挿絵であろう。神田雉子町に住む町名主の斎藤幸雄が企画し、幸孝、幸成（月岑）の三代で完成させ、天保五年（一八三四）から同七年にかけて刊行された同書の挿絵を担当した雪旦は、その後『東都歳事記』（一八三七年刊）でも、雪堤と共に挿絵を担当した。天保一四年（一八四三）没。享年六六歳。

『魚類譜』は、全一帖（請求番号 一九七—四七）。表紙の大きさは縦30・0cm、横21・7cm。「明治十一年購求」「太政官文庫」の印があり、明治一一年（一八七八）に内務省図書局が購入し、農商務省、太政官文庫を経て内閣文庫に受け継がれ今日に至ったことが分かる。雪旦（宗秀）雪堤父子のほか、雪嶺、雪洞、雪英などが写生した魚介や龍の図も収録。『魚介図』同様、雪旦生誕以前の作品の模写図も含まれている。

#### 【凡例】

三つの資料共、基本的に右上から左下へ向かう順で、図に添えられた文言（魚名ほか）や文章（解説等）を翻字した。ただし同一の図に関する文言や文章の位置が紙面上離れている場合は、これをまとめて翻字した（したがって右上から左下の原則に従わない例もある）。

『魚仙水族写真』では、表紙を除く、綴じられた紙の表を【一ノ表】、裏を【一ノ裏】のように表記し、それぞれの紙面に記された文言と文章を翻字。上冊は【五一ノ裏】まで、下冊は【五〇ノ裏】まで同様の作業を行った。

『魚介図』『魚類譜』は折本のため、共に紙面の表の記述を翻字したのち裏面を翻字した。虫損等の理由で判読不能の箇所は とした。

魚仙水族写真 上

【一ノ表】

キンゴタイ クルマタイ キンタロウ

きんこだい

棘蠶一種寛政中相州小田原

ノ浜ニテ七月十二獲之 此名不詳

扁身銀色ニ光リ美ナリ 肉味モ

美也 鱗ハウスキ 胭脂ニテ クヘシ

坂氏魚譜帖中ニエヒスダイ又

石ワリダイアリ 此物ノ類ナリ 只

此物鱗端黒キヲ異トス エヒス

タイハ形ヨク似テ眼小ヒレ紅

惣身銀紅色ニシテ赭色ノ

大黒点アラ／＼トアリ

エヒスダイ写真

鱗至テ細密ニ

シテ硬シ 色紅

可愛

クルマダヒ江戸

【一ノ裏】

糸ヨリダイ

形奇麗ニシテ肉透明

味淡美ニシテアマダイヨリ

性軽ク病人ニヨシ

勢海百鱗 テス

カン鯛又イソアイナメ

アマダイ紀州

めのかだい

【二ノ表】

天保六未年七月

芝金杉肴市場ニ

おゐて見留之

替り鮫

鷹之羽カ

笛吹鯛

之類

ブダイ

【二ノ裏】

赤メバル

アカマス

ハタシロノ類メ(「メ」は「シテ」)

赤斑アルモノ

スミタヒ シマカサゴ

【三ノ表】

かん鯛

小汐鯛

長サ一尺許ニナルヲ

紀州ニテコロダイ

ト云フ

荔枝魚 長崎方言

マツカサ

清人ノ俗称ナリ

荔枝殻ノ紋アルヲ

以テ名ク 多ク八食

品トナサズ 皮硬ク

名ノ如シ 乾テ玩物

トナスノミ

【三ノ裏】

スゞメダヒ

目ノ内青

具ノ光アリ

形状ムツ

ニ似テ

鱗大シテ

硬シ皮

付テト

レズ

按ルニ日本魚謂

カサコ此魚ナリ

南産志 鯧魚

是ナルベシ

二月五日写之

イシダヒ  
クチグロ 芸州

赤目鯛写真 キン鯛

【四ノ表】  
カサコ

澳勢乙呉  
写真

北国オイヲ ハナメニ似テ黒ク  
大ナルハ六尺ニ至ル

伊勢春網ニテトル アイ  
長一尺位 フナニ似タリ タヒニ似テ  
深黒鱗細肉カタシ 味美  
沖ニ居ル

スミ  
イシナキノコ

シマアンコウ

シマタヒ モイウトモ  
セイゴ似テ目上方  
ニ近シ ヒレ額モ尖リタリ  
タテ文四条アリ

アコウ

鰺魚ノ類  
赤鉾鯛写真  
スヽキハチメ越中

【四ノ裏】  
ホシダヒ

マタヒヨリ劣ル  
価モヤスシ クサレ  
易シ

キカスゴ  
アカメ房州

三オレダイ  
眼上三段ニ折  
タル如シ 故名  
随観写真ニ  
銚子浦ニ産ト  
云ヘリ

コブダヒ  
サルコダヒ江戸

【五ノ表】  
銀ダイ

鳥取ノ産  
風乾ノモノ  
ニシテ其眞色  
ヲ知ラズ 形  
カサゴニ似テ  
白色銀光

アリ  
越中方言  
アナゴダイ

頭中石アリ 表高ク光リ  
ウラ平ニ紋アリ

火打魚 隅州熊毛郡国府  
八幡宮前ノ浜ヨリ産  
小鯛ノ類ナリ 背ヨリ割  
開腊煮トナシ来ル

栗本図鑑 ギンタヒ  
粗鱗銀色ヲナス 鯛ノ属ニ  
非ス 目バルノ類ナルベシ

アンボン鯛  
鬼力サコ写真

眼大ニシテ  
青具ノ如ク  
光

按スルニ海底ニ  
栖ム者江戸魚市  
ニ稀ニ来ル

此魚頭至テ大ニシテ骨ノミアリ  
其形水晶割タルカ如シ 故火打  
鯛ト云 形状タヒニ似テ 鱗細シ  
腹下ニ薄ク刺アリ鋸ノ如シ 頭ニ石アリ  
口中及腹ノ裏皮黒ク  
赤魚ニ類ス 鱗尾共赤  
ク朱ヲ塗タルカ如シ

形短ク円キ方ナリ  
二月五日写之

小汐鯛写真

イヌダイノ類

フエフキタイノ類

紀州ニテチビキト云

魚ニモ似タリ 又クチメ

トモ云モノノ類也 日東魚

謂ニククチミタイト云

今按ルニアエナメノ一種  
ナリ

胡椒鯛 筑前ツクシ方言宝蔵鯛 貝原翁云 常

ノ鯛ヨリ身薄ク

味淡クシテヨシ 色淡泊紅ナラス 尾

二近キ処黒白点多シ 牙

八口中ニカクレ外ヨリ見エス 尾ニ岐

ナク直ニ切タルカ如シ 常ノ

鯛ニ異ナリト 大和本草ニ見エタリ

即此物ナリヤ

【五ノ裏】

鱗殊ニ大ニ堅硬ナルコト巖石ノ

如シ 一休鮮腥ナラス 肉味白ク

淡美ニシテ上品ナリ

板ノ上ニ肚ヲ付テ安置スルニ其肚

下平ニシテスワリヨク 図スル形ノ如シ

他ノ鯛類ト八大ニ異ナリ其肉

白キ鱗ノ上ヨリ透微スル  
コト鯛ノ蟹源八ニ  
似タリ

金井浜 金トキ

タヒニ似テ鱗大目大

尾黄鱗黒カサゴノ

如ク光ル 一尺以下春トル

アカムツ太タル形ナリ

源八 越中

ハチメ

九十九里源八 カミタヒニ似テ

皮ヲムキテ食フ カレヒノ角

タチタル形ナリ

上唇ニ欠タル処有ル処へ

下唇ノ出張タル所入ル

エヒスダイ

カゲキヨ 紀州方言

色正赤如火 鱗甲

甚堅肉味極美

一比鯛写真

【六ノ表】

マンタイ又名綿ダイ又万宝ダイト呼フ 又名万

年鯛ト云フ

背ヒレ立テ上ニ向ヒ腹下ノ両鱗モ下ヲ指テ弯曲

セス

此巻余紙ナキユヘニ弯曲シテ図セリ 全体ニモ

丸ミアリ  
其状方ナルヤウニモ見ユ

【六ノ裏】

紅シヲゼ 黄槽魚ノ一種ナリ

錦タイトモ云 日東魚謂ノハナキレ

タイ此類ナルベシ 只其鱗鬣

尾黄色而碧紅相交如錦紋

蓋シ花黄槽鬣之謂乎 此黄

槽魚ノ一種

はなしまだひ

ナカダイ クチミタヒ

熊野ノ産 長尺九寸斗リ

イセ忠云 二月中旬頃尺五六寸ノ

者八七尾来リ 形タヒニ似テ

円ニシテ長シ 目大二頭スヽキ

ニ似タリ 尾八岐アリテ燕尾ニ

似タリ 鱗色スヲウノ如シ

鱗小ナラスシテ粗キ方ナリ

肉少クセウエンジノ色ヲ帯フ

脂ナクカロシ 夏月八九寸

ノ者稀ニ来ルヨシ

【七ノ表】

エヒスダイ

惣身銀色ニシテ

浅紅色極美也

其肉通微シテ

アカメタイノ如シ

味美ナリ

【七ノ裏】

カネタノキ  
小田原漁人の魚ト云  
今ハ略称シテ俗ニ  
マトヲト云 海ノ幸ニ  
タノキガネト云

八目ウナキノ

一種ナリ アンコウノ  
腹中ヨリ出タル者

唇ヲ引伸ス時ハ長ク出ル

他魚ニ異ナリ此魚鱗ナシ  
光リアリ 新鮮ナルトキ殊ニ  
腥シ 下品ノ者ナリ 鮮ナルモノ

煮上テ速ニ食ヘハ味美ニシテ  
ヨロシ 経日餒敗スルモノ

又煮置タルハ毒アリ 必ス  
食フヘカラス 佐州ニテカネ

タノキト云モノナリ

【八ノ表】

ハタタテダイ 形棘鬣ト一般 其色  
浅紅ナリ 只背上幟如キモノアリ

長サ七寸許ノヒレアリ 軀ノ鍛冶町  
ノモノコレヲ得タリ 其時名ナシ カリニ

ハタイオト名ツケタリト云 全体ノ大  
サヲスニ記セス 遺恨ト云ヘシ

癸巳七月伊予ノ宇和島ヨリ此図

ヲ贈レリト

蝦夷唐大嶋ニテ漁

獵シ得ル異魚  
乾枯ノモノ

本色ヲ失  
フト雖トモ其

俛ニ凶ス  
モノナリ

全体鰯魚ニ似テヒラタシ 圧扁セルカ如シ 頭  
上ノ骨薄ク

刀刃ニ似タリ 背上ノ鬣端 ノ如ク長ク軟ナル  
コトの魚ノ

鬣ニ似テ 至テ長ク八条アリ 文化戊辰仲秋望  
其乾養ノ

者ヲ得テ写畢

案ルニ紀海ニ偶ニ得ル魚此魚ト同シ 但腹下ノ  
鱗ニモ白糸

アリ五六寸 上下鬚然トノ白髪ヲ乱セルカ如ク  
美ナリ 方

言糸引ダイト云 華夷珍玩考曰 白髪魚戴髮如  
婦人白肥無

鱗書濱池ト云者是等ノ物ヲ指テ云乎不知是否

【八ノ裏】

シオフキダイ

小鷹ノ羽

ハタサシ 土佐方言

ハタミテ 肥後八代方言

【九ノ表】

寛政八年辰正月廿七日  
写之 此魚名未詳 俗云

フエフキダイ 鷹羽タイ  
ト云魚ノ種類也 此モノ

佐州ニテ朝比奈氏  
奉行タリシトキ

写セラレタル図ナリ  
寛政中ニコトナリキ

丹洲案 両脇有淡黒横  
紋者ト云リ 之ハアルモナキモ

一定ナラズ 深黒横条画ノ如ク  
アルモノハ江戸ニテ鷹ノ羽ダイナリ

種々アリト知ルベシ

食鑑 色黒鱗長頭  
大眼織如野猪頭

曰猪鯛  
メジロダヒカ

水戸越中方言  
鯨ダイ コチダイ

クロチンタイ 栗本

【九ノ裏】

スノメタヒ

ヲシマウヲ

マルフナ

深河

駿州クノウ山辺

キパキチ形タナコニ似テ

背刺三アリ 腹二刺二

アリ

伊勢ニテヒラコ

メサシニスルノミキイワシ

キイワシ 目大鱗硬

長四五寸背一スジ

微青 夏多シ 春シラ

ウヲノ網ニ入ル 白キ処

雲母ノ色

テンス 江戸魚肆

アカフグ 対馬

形カサコノ ニニテ

テンス似テ黒文

ナシ

食療正要有 行者アチ一名エラ

高鰻 尼崎出身極扁大硬 (鱗) 至頭

辣高アチ目錄

其大三四寸斗 状

似アチ而皮厚

刺硬ク味不佳

作掩耳 最為

下品

アチノ頭ニ

イシアリ

深河

クロアチ 四月ヨリ土用迄アリ

色黒ク油少ク味劣レリ

ムロアチ 初夏ヨリ冬迄

口クニン網ニテトル 形サバニ

似テ扁ク目アシアリ 大

ゼンゴ少シ 色アチヨリ

黒シ 生食テヨシ

【一〇ノ表】

狼波是

コシタメ

イボゼ

大小二個 形如此無鱗

無毒病人啖之無妨

味淡美

コシタメ

コシタメ 形似鱧

細鱗水白肉脆

弱而細刺多味短

並下品

気味タカヘト相同

食物摘要 コシタメ

海中小魚也 長六七

寸 形色似鰻魚 但

細鱗而自頭至尾

両辺各有一黄路

日東魚譜

タカベ

形イサキニ似テ

少円 細鱗 黒

色多脂者下

品魚也 味甘性温

フラ領以下

少シセイコノ状アリテ

鱗極テ細身形

大アユニ近シ 口アユノ如ク

ナラス 又自大ナリ 背上

第一ノヒレ硬刺アリテ相次テ

起ルコト十二ニ至テヤム 第二ノヒレ柔ニシテ

上ノ半黒文アリ 末稍白シ 尾八岐ナリ

左右ニ黒文アリ 領後両鰭黄色

皇和魚譜 ミコウヲ

丹波亀山ニ多シ モウヲ

似テ小ク腮ノ両ワキニ

綠色ノ点アリテ小豆

ノ大ノ如シ 甚タ美ナリ

此魚水戸坂戸村常照寺

山中池中ニテトル者ナリ  
此池ヨリ田中町川流出ル

(湊)アリ 網ヲ設テ  
鰻ヲ捕フル網ニ

此魚カヽリ上ル  
即凶ノ如シ 鱸ノ

小ナル者トクラヘ見ル  
ニ鱸児セイコニハ処々

小黒点アリ 背鬣  
ニモ黒彪紋

アリ 此魚  
ヨリ

全体ホソシ

此魚名未詳 按ルニ  
アユナメノ類ナラン呼(乎)

クジメト云モノ、一種ナル  
ヘシ

【一〇ノ裏】

寒鯛

感鯛 三月頃出味如鮎奈免  
ノフス ナヘクサラシ

武鯛

(貼り紙) テングダヒ  
又シホフキ

【一一ノ表】

赤眼鯛

惠吳鯛

【一一ノ裏】

追剥オヒハキ

皮剥カハキ

【一二ノ表】

蓮花鯛

黒木

【一二ノ裏】

比與知淳

今云ヘタイ

粟本有

カシキ

シヲ

【一三ノ表】

炭焼鯛

免慈那

石鯛

【一三ノ裏】

星力サコ

赤魚笠子

【一四ノ表】

赤鯛

夷鯛

赤木鯛

笛吹鯛

金鯛

【一四ノ裏】

一斗鯛

夷鯛

一比鯛



目張

【一五ノ表】

雀鯛

食療 鈴夕ヒ

一名夕カ八尼崎

煎魚中雜貨之円頭細尾

色黄有横黒文無鱗

嶋石鯛

鏡魚

万歳鯛

奴鯛

【一五ノ裏】

小豆鱒

紋柄鱒

黄鱒

溜鯛

【一六ノ表】

赤眼魚

羊肝

赤魚

【一六ノ裏】

扁アチ

カイワリ

ギンザ

糸縷

笛吹鯛

千波良

【一七ノ表】

アカタナコ

鉄乙失テイシ

銀鯛

天竺鯛

紀慈美鯛

ホシタヒ

免能古鯛

【一七ノ裏】

アンホントイ

鬼笠子

笠子

本魚

胡麻笠子

名ナシ

同

アラ 大和本草

モロコハタ

スミヤキバチメ

魚

俗名

鰺魚類

【一八ノ表】

鮎奈女

嶋波多

布具里須

アユナメノ類

根太ネフト

雑魚サコ

ネツサコ

柳ザコ

一名柳

八工

ハタシロ  
鱈白

真鱈

嶋鱈

【一八ノ裏】

按錦鯛 状似鯛而肥大 鱗鱗紅光如錦 又如刀鋒不可手近不能切割 庖人以刀背剥鱗 肉白味稍美 大抵一尺大者六七尺 関東亦甚稀焉 大坂市塵偶有之 予亦見之

夷鯛

具足魚

石張鯛

キントキ

錦鯛

【一九ノ表】

ウキソメハル

ヨコハ

按血引魚 形似鰻而大者二三尺 全体深赤色 肉亦如血味不美 故惠其色食之者少シ

【一九ノ裏】

キカスゴ

金魴

カシキ

ヒメギス

ヲシマウラ

青他

藤五郎イワシ

キイワシ

キナツホウ

海ペラ

シマヲコセ

小鷹之羽

金小鯛

黄鮫

小ツナヨリ

【二〇ノ表】

鯛ノ福玉

キイダヒ (マ)ダヒ 大サ目下七寸ニ至ル

冬沼津ヨリ来ル

夏ナシ 色(黄)赤 身扁頭大肩イカリ脍殺肉柔 ヒレ小也

キダヒ形マタヒニ同シテ唯短円ナル形ナリ 又惣身黄赤ヲ帯フ

尾ヒレ黄ナリ 肉ヤワラニシテ タヒヨリ腐ヤスシ 価モヤスシ

ミコ小タヒ 水戸越中方言

【二〇ノ裏】

エヒスタイ 赤マンボウ

此魚古ハ食少ク無シテ 故アタエ安シ

今ハ食ヲボエ 其背肉ヲサシミトナシ又

キハダノ偽トス 多クハ料理屋ナトニ最

好ムナリ 錦鯛写真

【二一ノ表】

ベニタヒ

金魴

ヒメカサゴ

ベラセウタケ

【二一ノ裏】

ウミヤマメ

蛇コチ

黄鳧鰻写真録

カイワリ江戸

ウミヤマメ

クマアチ 形似小タヒニ 食療

【二二ノ表】

八夕

此モノ大ナルホト

紫条ウスシ

キコリ 其形タヒニ及ヒ

メハルニ似テ長七八寸或

一尺五六寸斗リ 淡黒色シテ

微赤色有横筋二三条

目少赤味 メハ

ルニ似テ脂ナシ

淡美 毒ナシ

食療 黒八眼 身無

斑文 佐渡出

クロメハル

馬ノクソメハル

此者数品アリ

【二二ノ裏】

馬魚

椿魚

白能宗

猫不嘉

【二三ノ表】

大波恵

溪川ノウクヒナリ

姫小鯛

鏡魚

ヒラ

【二三ノ裏】

宝蔵鯛 海魚ナリ

其口囊ノ口ヲ括

力如シ 偏鄙ノ人帯

腰火打囊ヲ審

蔵ト云 此魚ノ

口似之形 與

紅鬚魚相似

遍身淡白色

久鯛

為海魚 其形

如紅鬚魚

多黒点淡

色與海

鯽不相

似 味美

如紅鬚

魚 斜有

紋三四条者

クサイ

漢名未詳

海魚也

非巨魚

其形状

如此 大

不過数

寸 其髻

多如此

他魚異

ムツノ魚

沉海ニ多シ

味不美

目白鯛

肩高横潤與紅

鬚魚異兩傍有

紫斑 其目白

クチミ鯛

口尖色淡黒

味与鯛相似

較劣

オフセ

フカサ、エワリ  
モタマノ類ナリ  
遍身ウスネツミ  
色ナリ 黒点多シ  
腹白ク口濶 鬣大  
小三所ニアリ ヒゲ  
アリ ナマツノ如シ  
目ノ傍ニ耳穴アリ  
其性強シテ死カタク  
身ヲ切トモ猶動ク 熱湯  
以ユビキテ指身トス  
味ヨシ 形コチニモ  
膽ニモ似タリ

江豚<sup>イルカ</sup>

【二四ノ表】

キンダヒ

金目鯛ノ類ニテ  
白色ナル者 曲直瀬

秋田ノ産

鱒

又雷魚トモ言

但子持ノ

形 此子ヲ食

スルニ音高ク

雷声ノ気

味アリ

頭如斯劔ノ  
形ヲ成セル骨アリ

ネツコチ

キンチャクダヒ

フクリスカ

モンカラハタ

【二四ノ裏】

鰻魚(カブトガニ)

甲差渡

凡 豎九寸

横八寸

尾長サ凡八寸

但三角ニ而先少々折有之

鰻魚雌

【二五ノ表】

平家蟹

駒込浅嘉町

水茶屋ニ而

和泉屋

嘉永四年亥五月十九日

武芳写之

【二五ノ裏】

海トシヤウ

マホウボウ

【二六ノ表】

(卯力) 十月廿九日写之

肉微赤 形イトヨリニ似テ

濶ク尾

河鱒

アメマス

【二六ノ裏】

(文字無し)

【二七ノ表】

キカスコ キタヒ

形状ハナヲレニ似テ

鱗大ニシテ鱗尾黄赤

又惣身ニ金色ノ処アリ

ハナヲレヨリ脇ヒレ長シ

二月廿三日写之

キタヒ オヲタヒ粗鱗者

ヒメチノヲバ

形状フタヒニ似テ

口甚濶ク頭ハモウヲニ似タリ

鱗甚軟ニシテ禿ヤスシ

肉ハ透明リテ ノ如シ

大サ三寸許 写之

【二七ノ裏】

セトタイ

形状タヒニ似テ短ク

背高ク腹平ラ也 諸大

目口大 尾八岐シ 色黒タヒノ

如ク 黒ニ少シ赤ヲ帯フ 鱗大ナリ

冬黒色深シ 夏ハ微赤ヲ帯フ 口中ニ牙齒

アリ 大サ七八寸許リ

四月十四日写之

【二八ノ表】

マコ

マカレイ

一ソクカレイ

越中

形イシカレイニ似テ

長ク 肉厚ク背腹ニ

細鱗アリテ石ナク

沙アリ 夏月多シ

色マコ同シ

【二八ノ裏】

ヲニヲコゼ

【二九ノ表】

写真カサゴ

赤メハル

赤八眼 佐渡出

食療

同赤目張 一名カメナ

メハル三四八四五頃多シ

蜂八チメ越中

キハダハチメ

越中

キンメハル

金八眼カネ如金

佐渡出

【二九ノ裏】

(文字無し)

【三〇ノ表】

国ヨリ

ウミトシヤウ

イソキス 越中

ホウゼウ

タシト云

【三〇ノ裏】

サトウマクラ

ホツケ

沖アユナメノ類

ナルベシ

ギス

箱館産

ヨコセノミコ

【三一ノ表】

金劔写真

【三一ノ裏】

九十九里大イワシ 大ホタイワシトモ

イワシ オホ八頭目大二シテ

身八細シ 之ハアシトセウハ

頭目小身太脂多シ 之ハ

ヨシ 七八寸

赤ゴチ

味比常種則廻美 皮薄

其肉透徹シテミユル 頭上刺

アリ 蓋鬼ゴチノ類ナルベシ

写真澳鮎嗜

全体飴色 疎鱗

有黄細点濁吻

味不美

アフラゴ

アブラメ

二三月美 四月脂多シ

海底岩間ニ居ル

大和本草云 ウミゴ

在海 大不過数寸

モロコシアイナメノ  
一種 モロコシノ如シ

肉柔ニシテ

対馬美ナラス 炙食

アブラメアカウニ似テ

丸ク長ク口小中豊

長七八寸 額下赤シ

身色鼠色小黒斑

アリ

写真澳鮎嗜

全体鉛色 疎鱗有黄

細点 濁吻味不美

【三二ノ表】

チマクネ

五月七日エドモ海中

獲之 其土名ナリ

ヲコセノミコ

カシカノミコ

越中

ピシタ々

又ベツタトモ云

【三三ノ裏】

トラヲコゼ

【三三ノ表】

越中方言

ヒグラシ

【三三ノ裏】

蝦夷草子 コロンコロム アツケン 小沼

アリ 性八魚ニテ形八角アリ 全身

刺アリ 其形ヲコセト云ニ似タリ

毒魚ナリトソ

藤ウヲ

佐州ノ方言苦ウヲ

大小アリ 二三寸ニ不過

頭大ニシテ尾尖リテ

ホソシ モウオニ似タリ

味至テ苦シ 佐州

ノ俗 小児ノ虫氣ニ

用ユト云

其鱗至テ

微細ミヘ難シ

赤藻魚ノ類ト

見エタリ 眼上

ヨリヒレアリ

尋常ノ藻魚ト

異ナリ

苦ウヲ

【三四ノ表】

蘭名

スコロハス 弘化四丁未年三月朔日

武芳写之

【三四ノ裏】

形状スメリコチニ似テ

頭扁ニシテ薄 其フチニ至薄ク

短刺ヲ並テ生ス 背中両脇

短刺ヲ生テトコヒレノ

如ク 肉ハスキ通りナリ

又全身短刺多ク

十月十六日

【三五ノ表】

両面鰈

山臥鰈

目高鰈

【三五ノ裏】

(文字無し)

【三六ノ表】

(文字無し)

【三六ノ裏】

カンソウカレイ

【三七ノ表】

猪頸鰈

【三七ノ裏】

イセ忠云 冬春皮ニサメノアルヒラメヲ

トル 肉軟ニシテ ノ如シ

イシカレイ

メイタカレイ

【三八ノ表】

真平目

星平目

曾義平目

【三八ノ裏】

メコチ

メコチ八目大ナル故ナリ 色青ク

眶ニ金輪アリ 肉厚豊 背ニ大

横文通ル

【三九ノ表】

ソケ

五月六日写之

【三九ノ裏】

(図・文字とも無し)

【四〇ノ表】

鯛魚

大サ此絵図之通ニ御座候

厚サ等は鯛なとのことくニ

相見へ申候 波中ニ有之候

も此絵図之大サニ而丸ク  
御座候

薄黄イロ

【四〇ノ裏】

鱈魚

筑後柳川久留米

産之 方言エツ

【四一ノ表】

四月廿一日写之

全身ヤワラカニシテ

ノ如ナル鱗形アリ

皮最毛脱 シ 骨

毛軟脆 シ口潤ク

牙三ツ上ニアリ 細齒

アリテ ハモノ齒ニ似タリ

又眼大ニシテフチ赤シ

尾八鱗アリ

此ヒレ甚

小ナシ

按スルニ色ト性ムツニ似タル歟

ヲキイワシ 随観写真

イセ忠云 是クサモチノ小

ナル者歟

海ギス

文政四年辛巳二月廿二日

堅田侯ヨリ来リ写

頭細長如此

粗鱗多肉有

脂通徹又似

白幾須魚

此物キスニ似テ口小ナリ 鼻頭平ラニ

シテ截断スルカ如ク 眼郭大ニシテ キスノ

如クナラズ 額平ラニシテ三稜紋ヲナスコトハ

タノ頭ニ似テホソク長シ 肉白ク透明ニシ

テ梭魚ニ似タリ 此魚淡塩ニシテナマヒ(生干)

ニシタルモノユヘ真色ヲシラス

享保年中津輕采女正ト云人アリ 近海漁獵ノコ

トヲ好テ精シ 著述三冊アリ 何羨録ト名ク

其書中ヨリ海ギスノ九寸以上ノ者ヲ鼻曲リト云

トアリ 恐クハ此魚ノコトナルベシ 芝陽考ナ

リ 頭中ニ白石二個アリ 海ギスノ石ニヨク似

タリ 魚肆ニハコレヲ生タラト云 京タラナシ

俗ニ京ノナマタラト云ハ此魚ヲ指テ云ト 味輕

クタラニ似タリト雖モ全ク鱗ノルイニ非ス 海

ギスノ類ナルベシ 腹中腸ヲ

八黒皮アリ ヨク洗去テ食テ毒ナシ 味淡ニシ

テ不美 好テ啖フヘキ者ニ非ス 因テ魚舖スリ

ミニシテハンペン(ニ)シテ售ル

凡テ名シレザル異魚ハ皆スリ身ニシテ魚餅トス

ト聞ケリ

【四一ノ裏】

ヲキ目張

二者 其名  
與形狀相

同而

其尾

尖

與

岐

不同

名稱

同上

與上

者雖形

似 其色異 凡為三種

ス子魚又シマ魚ト名ク

在海中 長

數寸ニ不過

味不好レトモ

可食

是亦筋魚ト云

海魚也 長不過數寸

與在上者

其文条

縱横不

同 可食

ウミコ

在海大不

過數寸

江戸魚

海魚ナリ 大者

不過五六寸

味佳 目口

與他魚異

如所ノ圖

ハウヲ

長六尺至

一丈 形状

ブリノ如シ

味平淡

七八月

捕之

為海魚

對馬州

馬又ス人

本書緋魚

紅色細鱗

鬚尾似

紅鬚ツイ

魚口

向上

味亦

似鯛

赤魚又モウヲト云 在海中

長尺余 其色紅多白少

口濶目大而高首大末小シ

ナリ 肉軟脂少味美  
病人可啖無毒 俗赤

魚略シテアコト云

是亦本書緋魚

下二ノス 身半以

下小

【四二ノ表】

カタナキリ 越中

形状エソニ似タリ エソノ

一種ナリ 唇厚シ 眼圖沉魚ナリ

土スリノヒレ長シ 鱗カタク

ツク 下唇長ク出ル 全身円クシテ

キス又カマスノ如シ

大サ五六寸

五月四日写之

【四二ノ裏】

(文字無し)

【又四二ノ表】

形状イナタシマアチニ似テ其体皮薄ク

鱗ノ形ヲ為ス 背ノ脇ニ一糸ノ鱗有テ

アチノセンコニ似テ大ナリ

其性アイコニ似テ磯魚

ナルベシ

卯六月十三日

【又四二ノ裏】

アラ海魚也



未知漢名 口広  
 アコニ似タリ 色  
 淡黒 長一二  
 尺アリ 味淡  
 美無脂  
 肉白性  
 良 寒月多  
 倭ノ婦人  
 科流医金瘡以要薬トス 血ヲ治シテ且血ヲ活ス  
 石八エ  
 首小二口ワキニヒゲアリ 鱗ノ  
 ヒゲニ似タリ  
 腹黄白色  
 長五六寸  
 ヒレノサキ  
 尾ノサキ黄  
 赤色 常二  
 岩間ニアリテ  
 不出  
 鱒魚本書ニ載タリ 大河ノ下潮ノ通ル処ニアリ  
 河魚ナリ 長六七寸大ナルハ  
 八九寸バカリ 横八、一寸余 首小二短ク目小  
 シナリ 目ハ口ノ傍ニ近シ ヒレ処々ニアリ  
 色頗白 尾ハナマスノ如ク小二扁シ 肉ニ脂少  
 アリ 口ノ広キコトアユノ如シ 背ハ淡黒シ其  
 余白シ 夏間多シ 大鼓ナドノナリ物ヲソル  
 雷ニソレ 是ヲトラントテハ漁人大鼓タ、キ  
 船ハタヲタ、ギ板ヲウチナラシ  
 一方ニ追ヨセテ アミニテ引ヨセトル 此魚小

ナル横骨甚多シ 乾シテカハケルハ其骨外ニア  
 ラハレ見ユ ムネニコトニ骨タル処横ニ多クア  
 ラハレ見ユ 処々鱒ノウロコノ如シ 腹下ニカ  
 トアリ 是鱒魚ナルヘシ 此魚味ヨキ故ニ彭  
 淵材力五恨ノ一二鱒魚骨多キヲ恨ムトイヘリ  
 此魚諸州ニマレニアリ 京江戸大坂ニハ在モヤ  
 スラン未見 肉ヲ細ク切 水ニ入ヨクモミアラ  
 ヒテ油ヲ去ベシ  
 ツヨクモク ケズ 味カロクヨシ 多ク食シテ  
 害ナシ サシミナマスニシテヨシ ヤキテモ食  
 ス 上品ナリ

【四三ノ表】

エヒスタヒ

目

朱

エンジ

背

エンギ

金分クマ

腹

キノゲ

エンジ

ヒケノサキ

ヒレノサキ

朱クマ

目色アイノ 玉アイ

タヒノ色

黄グ

エンジクマ

色イタチ

ノ如シ

アギト

三ツ

ギンホウ

【四三ノ裏】

土人曰 ミノウヲ一名アカメ イシナキニ似テ

長四尺斗

鱗二寸斗リ フナノ黒ミアリ 黒タヒニ似テ大

也

イナノ一種 イナニ似身広クシテ短シ 鱗薄シ

テ大 粗ク最モハケヤスシ 下唇薄クナキカ如

シ 色赤シ 嘴尖ラス円方ナリ ヘソアリ 肉

八真白ナリ

恐クハ子魚ナルベシ 味イナニ次ク

九月九日写之

江戸魚商ミノイナト云 此者イナニ交テ稀ニト

ル ヨクヨシノ間ナトニスム 又ハヌルコトイ

ナニ同シ 淡鹹ノ間ニ栖ム

【四四ノ表】

ホシカサコ 十月廿九日

眼明カニシテ光ルコト他魚ニ異ナリ  
鱗八皆上ラムク

【四四ノ裏】  
(文字無し)

【四五ノ表】  
クマノミ

イソネツミ

ワツチ

チキリ

ヲタワラ

八丈誌

【四五ノ裏】  
(文字無し)

【四六ノ表】  
(文字無し)

【四六ノ裏】  
(図・文字とも無し)

【四七ノ表】

ムリシ  
銀ノ如シ

【四七ノ裏】  
(文字無し)

【四八ノ表】

鯉ノ雌 頭形細ク鱗色  
淡黄白 鱗数三十三あり  
眼恰好より小 之白鯉  
なるべし

四月廿八日写  
図より頭細長シ

【四八ノ裏】  
褐色ニメ

【四九ノ表】

セイガイハチメノミコ  
ヒクニガラ

アマンボウ

シヤウノガニ  
水引蟹ノコト

カワスマキ

【四九ノ裏】  
コンベコ

イトマキ

カメノテ

ワラノテ

【五〇ノ表】

アメフラジ  
ウミウジ

ハツテウグハ

金剛ムシ

【五〇ノ裏】

タコノ異種 表形短刺及小瘤ノ如キ者アリ 常  
ノタコヨリ頭大ニシテ  
足甚細ク短シ 面ノ形小瘤アリテ金色 又アワ  
ビ貝ノ如ク光ル 裏ノ形  
淡黒ヲ帯フ

三月廿一日写之

【五一ノ表】

(文字無し)

【五一ノ裏】  
(文字無し)

魚仙水族写真 下

【一ノ表】

海魚考云 ニシンカド  
 長崎ノ海ニ於テマヽ之  
 採ル 形状イワシニ似テ  
 大ナリ 頭尾稍ホソク  
 中広ク口大二尾八大ニシテ  
 岐アリ 鱗ホソクシテカタク銀色  
 ナリ 背スシ少シ淡黒ヲ帯ブ  
 ヒレ尾皆淡黒ナリ 此比  
 又一魚ヲ得タリ 漁人又名ヲ知ラズ  
 其形口円クシテ長ク 下腮短ク ヒタイ  
 扁ク 身肥テ長ク 肉厚クヤヽ円ミ  
 アリ 色白ク光リアリ 背ノ方スコシ  
 黒ヲ帯ブ 腹白シ 尾岐アリ 其鱗ヨク  
 ソロヒテ並ヘタルカ如シ 全体ニシンニ  
 似テ又ホラニ似タリ 長尺二三寸  
 ハカリ 肉甚柔ラカニ骨ホソ  
 ク頗ルイワシノ肉味ニ似タ  
 リ 是又ニシンノ類ナルベシ  
 ニシンカド  
 三才図会云 鮠状似  
 コシロ 鮠而円長 眼大而赤  
 軟鱗易脱蒼碧色 肉  
 白脆脂多 有細刺 味  
 勝於鰯  
 啓蒙云 カド一名ニシン  
 高麗イワシ筑前 セカイ朝鮮

房総常奥羽州殊二南部

津軽蝦夷ニ多シ 九十月

ヨリ春一二月ニ至マテ採

春トル者良トス 冬トル

者八油ナシ 大者一二尺

形鱗魚ニ似テ扁ク 又

青花魚ニ似テ眼大シテ

赤夜光アリ 鱗薄軟ニシテ落ヤスシ

捕レバ速ニ自ラ脱ス 色青クシテ光アリ

肉八脆ク美ニシテ紅色ヲ帯ブ 細刺多クシテ

鱈魚ノ如シ 炙リ食 味イワシニ勝レリ

【一ノ裏】

(文字無し)

【二ノ表】

新潟ニテ常ノイシモチヲクロイシモチ  
 アカイシモチ 赤ミアリ 青臭ク油アリ 美ナ  
 ラス  
 豊後ニテグチ イシナキノ子ノ如クシテ鼻曲ル  
 長崎グチ 四五寸白ク青ミアリ マツサカウヲ  
 ニ似タリ  
 クチ江戸 ベニイシモチ  
 海魚考ノニベナリ  
 ソコニベ石首トス  
 時珍本草 鮠魚 形似石首魚但頭小 色  
 青白ナマクサキコト更ニ重シ 味下ナルモノ  
 庖厨本草ニクチト云  
 正字通 鮠音免 石首魚一名鮠 生東海中  
 形如白魚扁身弱骨細鱗頭中白石

二腹内白鱧可作膠

【二ノ裏】

星かつほ

イセ忠 北国ノカツヲ横スジ

ナシ 是即此者ナルベシ

キンキヨフナ

【三ノ表】

秃波是

狼波是

大灘ハセ

大藻皮是

黒波是

クジメ

ヒメカサコ

嘉麻多計

目張

鳥記曾

目張

スミヤキハチメ

赤松

湖吹鯽

チヌタヒノ類

七子魚

沖イサキ

【三ノ裏】

菖蒲ノ根魚ト化スル事

板屋桂意広長八土佐家ノ御絵師ナリ 其男桂舟  
未少年ノ比 文政甲申五月ノ事ナリ 何ヤラン  
鉢植ニスル物アリテ鉢ヲ尋ルニ 椽ノ下ニ古キ  
鉢アリ 取出シテ見レハ梅菖蒲 雪ノシタナド  
植テアルガ 皆枯レハテ、土モカワキテ有シカ  
バ 共ニ打明タルニ 土中ヨリ魚ノ形チシタル  
物飛出タリ 能見レバ菖蒲ノ根ノ蠹<sup>ウツキ</sup>メクナリ  
桂舟大ニ驚キテ父ヲ呼ヒニ 此寸桂意ハ朝飯ヲ  
喰テ居タレド イソギ行テ見ルニ アヤメノ根  
魚ノ形チトナリテ動ク故 水ノ中ヘ入サセテ見  
ルニ マツロヨリ出来ソメテ其内ニ尾鱗モツ、  
キテ 一時斗ノ間ニ全ク魚ト成テ水中ヲ游クサ  
マ 鯉子ノ通りニテ少シ金色ヲモ帯居タリ 此  
事忽人口ニ膾炙シテ見ニ来ル人モアリ 屋代弘  
賢翁ノ考ヘニ 龍ハ能変化シテ蟄シ居ル者ナ  
リ モシ彼魚龍種ニテ 時日ヲ待風雨起シ昇天  
ナサンモハカルベカラズ サワラ又神ニ崇<sup>ウツリ</sup>ナシ  
諺モ有バ 広キ水中ヘ放チヤルコソ宜シカラメ  
ト噂<sup>ウハ</sup>有シカバ ヤカテ弁慶堀ヘ放チシトナリ  
此咄追々慥ニ聞置タル上 又此化スル処ノ有サ

マヲ桂意カ図シテ言葉ヲモ書置タルヲ 或貴家  
ヨリカリ得ルマ、書画共違ハ又様ニ謄<sup>ス</sup>写ナシ置  
又世ニ珍シキ事モ有モノナリ

酉年五月十九日朝四時過比

鉢植ニ梅ノ枯木有之 ワキニ

アヤメ多ク ユキノシタモアリ

其土ヲアケシ処 如此ノカタマリ  
八キヘ飛出ル

水ニ入候ヘハ

是ハアヤメ  
ノ根ナリ

六月十日夕七時前

弁慶堀ヘハナシ申候

口如此出来 夫ヨリ

目出来 追々ニ形アラ

ハシ一時程ノウチニ

此通り魚ニ

相ナリ

長サ三寸程

六月十日夕七時前

弁慶堀ヘハナシ申候

(文字無し)

【四ノ裏】

一種アカムツ

テリムツト云

遍身紫色ニシテ

美ナリ 是雄

ナル者ト云

アカプト 脰ヒレ長カラズ ハヤヨリ大ナリ

嘴ニ骨稜アリ 背色ハウクノ如ク腹紫赤 四

月カバリニテ釣ル 骨コワシ ハヤヨリ美ナラ

ズ

小蛇ナドヲ食フ

ムツ 川ムツト云

白ク腹銀色ニ

光ル 白色ナル

モノハ雌ナリ

里人多分

食料セズ

目録 スタスタハゼ

寸斗ニシテ背ニスシアリ

下野

阿津久

川ノ産

カシカ

シマハゼ

夕ホハセノ文アル者  
文大名縞ノ如シ

スゴセ

白魚一種

小ナル者 蘆

茎貫キ乾タル

モノ ワカサキト呼

称スル者是ナル

ヘシ 大サ図ノ

如シ 之ヨリ

大ナルハナシ

形モ口コニ似タリ

チジャレ 大サ一寸

イサ、 大ニ二寸

腹に小き足八つ

有て指先の所

鼠の如き足ナリと

【五ノ表】

信州アラ鯉ト云 水気ノ病ニ妙也

池瀆ニ養ヲクト云リ 信州名処函会

沼田人云 沖マルタの事 ウクヒ八丈者二尺斗

り川にとる 江海にて居る 能く糞船の近に

来る ウシクヒと交て居る 水にて早シ 船来

れ八急に去る 油あり 小骨多し 夏八水を去

れ八即死す 冬水を去ても二日も死せず 腹下

白く口辺に黄ハミあり

仙台ハラアカハイ長シ

ハラアカトナル クキトモ云

沖マルタト云

ヤナキサイ色黒シ

クキ 冬月

味美ナリ

ヒカイ

サイ 頭尖鬚ナシ

鱗身合セテ八大

鯉ニシテ平整

ヲ為ス ハラカヨリ鱗

大 尾ヒレ色白ス、キノ如シ

死シテ反セズ 小骨多シ 下十五日肉

ニ小骨入ル 上十五日肉中骨ナシ

サシミヨシ 夏味美

ウクヒ

大ナルモノ一尺五六寸ニ至ル

肉中人字骨アリ 味淡

此モノ鯉フナノサイノ

類 口齒ナクシテ

腮ノ内ニアリ

絹川人

マルタ

長尺四五寸 ハラアカニ

似テ腹赤クナル 小骨

アリ 然トモ肉柔

炙テ煮テ食フ 冬

多トル

ウクヒ サイヨリ

味勝ル 煮シタシ

宜シ 味噌汁又酢ニ

テ食フ 味鯉

鮒ト間ナリ

江戸ニテウクヒト云ニサイニ似テ

アリ

尾岐ニシテ少シク大細黒点アリ ヒレニモ黒点

アリ 頭ノ形ハサイニアラス 身扁ナラスシテ

円キ方ナリ

サレバ之ノ類直数品アルヲ サイ又ウクヒ混ス

ルナルベシ

【五ノ裏】

(文字無し)

【六ノ表】

鮭ヲヒクカギ霜月ノ末所見 鉄ヲ以造 大サ如

図 柄ノ太サ先ニテ如此 杓ノ木赤ミノ節ナキトコ

口ニテ造リ 長サ二間半或ハ三間ナリ シナヤ

カニテ持ニクシ 是ヲ水中ニ流 此力キノ上ヲ

魚ノ通ヲシリテ ヒキカケ上ル

ハタ／＼ 鱮々 海魚ニシテ十一月ノ初二出ル

大サ図如シ 淡黒赤色アリ

出羽奥州ノミアルヨシ 此出ルコロ雷鳴ノコト  
クスルヲ ハタ／＼サラクト云

宇 田軍器考余ヲ校スルニ 旗ハハタニテ鱗ヲ  
ハタトヨム 魚ハ鱗ヲ

ウロカシテ波濤ヲシノクユヘ ハタラクト云コ  
トナリト云々 此魚モヨノ  
ツネノ魚ヨリ鱗ノ大キナレハカクハ云ナルヘシ

【六ノ裏】  
川マス

【七ノ表】  
大八エ

嘉魚ノ一種  
津軽方言  
イワナ

イダ

アメノ一種  
鯢魚別種ナリ

【七ノ裏】

エゴイ  
深川ヨリ  
来ル 肉ヤハラ  
カニシテ クサレ  
ヤスシ  
之ヨリ尾ホソシ  
背淡黄淡黒ヲ

帯 ハラ青シ  
カワキスナルヘシ

メナタ

ヒラ

マス

【八ノ表】

信州天龍川カゴ雌ナリト云 銀光イワシノ如シ  
ハヤヨリ肉アリ 四五月子ヲ生ム時色ツク 二  
三月腹ニ子多シ 生終ヘ力尽キテ小川ナドニ入  
ル  
長四寸ヨリ  
六寸位ニ至ル

利根川イガリ 大抵図の如を大とす  
ワカサキに似て小さく味稍劣る  
絹川のイガリ雄 四月腹赤すじ  
生ず ひれの先も赤くなる  
イガリ マルタに似たり 長さイワシ  
の如シ  
マス イカリウヲ 睨赤腹  
生エンジの色あり 下ひれ長  
味不美  
イカリ頭微黒 ヤマベの類  
なり ヲイボシなし ひれ凡て  
形に合て大なり  
カワイワシ イカリフナ ヤマベに  
似て尾赤し 目下黒し

ヤマベより小鱗 色ヤマベの  
如し ボツ／＼ナシ  
近江水口クロムツト云

三才図会ムツ 溪洞空穴中有之 又浮遊 大四  
五寸 似 而略図

浅黒細鱗 (硬?) 鱗 尾有岐 肉柔味不美  
尤下品

啓蒙云 ムツ京 カワムツ同 モツモト若州  
ヤマプト勢州 コウシハエ河州

深澗流水及池沢に多シ 形ハエに似て狭く長細  
嘴尖り大なり  
吻に砂あり能虫を接し食ふ 小者八二三寸大者  
六七寸或八九寸に至る 色ハ淡黄色ニシテ  
微黒帯 脇に一黒道あり 上下鱗赤くなる  
テリムツと呼ぶ

形ハエに似て大なる者此の如し イワシにも  
サツバにも似たり 鱗大にして背油色を帯  
尾大にして長し 口大なり 尾脇ひれ甚長し  
肉ハもろき形なり イカリなり  
十二月十四日写

又薄エンジノ如くなる色を帯ふもの  
あり 尾のわきひれ諸ひれ赤色を帯

【八ノ裏】

香魚 アユ  
此図八往年同僚桂川  
古月池国瑞所手写也  
年魚九月十五日鑄 アユト云

雄雌

【九ノ表】

小バチメ越中

赤マスノ類ニテ少シクサシ

気アリ

蝦夷物産対問テソワ島

又ウセシリ島ノ海辺ニハ魚類

只一種アリ 島人之ヲシリホツケト云

大ササケホドノ如ク其肉赤シ 岩間ニテ之ヲ釣

ル方容易ナラス

蝦夷草紙 ヲシユルコマ 魚ノ形ニ似テ肉ハ鱗

ノ如シ 味至テ美ナリ エトロフ島ノ先ヨリ島々

ニ多シ

尾ノ角全ク白シ

栗本 アラムス

熊野ノ産 長二尺斗

物品識名 アラムス

全身紅色

キングヨフナ

【九ノ裏】

伊予大洲のは砂鱒に似て

少々大也 声は茶碗の底を

するかごとくなるに尚さえて夜

鳴くなり 鳴時兩頬つこく

大和本草に杜父魚とす 本

草杜父魚の

声を

不載

越後国のもの頭かしら

大く黒斑あり 腹白

し 小は一二寸 大ハ五六

寸 声蚯蚓に似てさへ

たり 夜鳴く 但し諸

国山川とも多し 四国にて

山とんこと云 大坂にてどんくろはせといふ

加賀国のもは頭大 少し尾に

股あり 背くろく腹白し 其声

鼠に似て夜鳴く 小なるは一寸許

大なるは二尺許 但し小ハ声なし

石伏 コリ

二種あり 海河ともに

あり 真の物は腹の

下にひれありて石に

つく 杜父魚に似て

小なり 声あり夜鳴く

ひれに刺あり

海八やはらかなり 河は

するとし

嵯峨にてミコ魚といひ播州にてミコ女郎

軌々といふ魚是に似て色赤く咽の下に針有

きゝはひれに針あり 大に人の手をさす

漢名黄類魚 ミコ魚八鱸系魚 海河ともに有

小三寸ばかり大四五寸

腮の下にひれあり 色

黄茶 黒斑又あり

此国のほかになしとて杜父魚に充るも誤なり

とす 霰あられの降る時腹をうへにして流るといふ

一名カクブツ 声あり 考るに杜父の種類也

杜父といひてあやまるもあるべからず

石くらひ

トングロひれに

刺なし

漢名

未詳

杜父魚

イシモチ 川ヲコセ伏見 クチナハトンコ伊予

マル嵯峨 ムコ近江

水底に居て石に

附て石伏に似たり コチに似て

黒斑ら加茂川に多く頭とひれに刺ありて

するとし

【一〇ノ表】

船ハシ人云サイ 鯉鱸と栖む処同し 性強く

水のあらしにあり 悪飲なす 肉をつゝ切にし

て

味噌汁なす 鯉劣る

マルタ 江戸

形状ニ似テ身円ニシテ長シ 背淡黒茶ニ草色ヲ

帯フ

背ヒレト尾淡黒ニ草色 腹下草色ヲ帯 大サ二尺タラズ  
腹下ヒレ脇ヒレ黄赤色 按ルニウクヒ生性ニ似タリ

又鯉ニモ似タリ 三月頃ヨリ夏中多シ  
寅六月晦日写之

沼田人云セイタ 利根川者石多き故に短し 隅田川の者身円長し 泥川の故なりと云 性強く沈魚なり 水深二三尋に栖む 潮淡水の交に至る

三河 或人云 大なる程頭大に なる魚なり 身狭し

シマイサキ 大サ如此 七月十日写之

【一〇ノ裏】

全身イナタフリニ類テ 形状ボラモ似タリ 背ヒレノ上タル処ニ短刺十頭ハカリ ヲ生ス 之他魚ト異ナル処ナリ ヒレ尾俱ニヒイラニ似テ 鱗至テ細ク栗ノ如シ 又沙ノ如シ 肉ハイナタナトニ似タリ

寅六月十八日写之

鱗細ナル上ニ沙アリ 味サメニ似テ臭気アリ 又コチ味ニモ 似タリ 肉モロシ 下品ノ魚ナリ

【又一〇ノ表】  
箕カサゴ

沖イサキ 七子魚写真 俗ニ

アゴナシ トモ言

真鯉

【又一〇ノ裏】  
平鮫

金戸

龍宮之雞

真黒

竹藪潜

角義須

【一一ノ表】  
肉肥テ腹ル

スミ 江戸方言 ソイ エソ方言 五月十日写之

古名フクリスト云 齒カサコノ如シ 大ナル者三尺斗リ 色少シ紫ヲ帯フ 目中金色ヲ帯フ 是アカウノ黒色ノ者ニシテ肉色潔白ナリ

【一一ノ裏】

ムロイワシ

水戸ノ産 長一尺五寸 巾腹五寸斗リ 四月

トル希ナリ

味美 色イワシノ如シ 鱗美

コニシンイワシニモ近シ 油多シ ニシンヨリ勝ル

二三月美 四月脂多シ 色帯黄 油

ヲトルニヨシ 尾

ホツケ カナカシラニ似テ大也

対馬マイワシ 大ナリ 鱗モ大ナリ 常ノイワシヨリ大ニシテ 乾シテモ 鱗落ズ

フエフキ

ハセニ似テ短ク 口ヘ

フヘヲサセバフク者



物品 クロハゼ 一名フツコ  
ナマス類ニシテ頭ハクロハゼニ似タリ  
コロモハゼ 黒ク細文アリ

対馬タナボウチヤウ

シマカツヲニ似テモツコクバノヒノ如シ 身薄  
シ

長サ尺四五寸位 肉少 円 色サバノ如シ 文  
ナシ

サハ尾ノ如シ 尾ノ方窄ク 味大アチ脂ナシ  
カマホコニヨシ

三崎

ヒラアチノ大者ニシテ  
ゼンゴナシ 又イナタニ似

扁身広口金色 長五寸位

目録 減 アチ 其状大抵似  
アチ而稍扁 尾前帯黄色

無刺鱗

ヒイラキ形アチニ似テ扁ナリ 長  
サ四五寸 極細 鱗銀色光リアリ

背微青ニシテ黄筋黄紋アリ  
額厚平ニシテ節アリ 背ヒレノ  
頭ヲ及ヒ腹下トモ 刺アリ

ヒレ尾赤黄色ナリ

【一一ノ表】  
(文字無し)

【一二ノ裏】

胡麻フク

肉雪白 味最美  
毒少可食

江戸稀有 故人少知

【一三ノ表】  
サハフク 海魚考

【一三ノ裏】  
テウ

イトウラ

河豚夷名

ユルシカ

チユツフ

銀フグ

シヲサキフグ

【一四ノ表】  
(文字無し)

【一四ノ裏】

丹洲曰 魚虎 鰩魚 ハリフク 蛮名セーエー  
ムルト云 訳海蝟ト云 羅甸ニ

エンスス房囊ノコト マリヌス海ノコト 薬用  
ニスルニ胃中病ヲ治シ能小使ヲ通ス

黒焼ニシテ用ユレハ 夏腐膿瘡ヲ浄去シ膀胱状  
ノ香花肉ヲ除ク 已上西洋

ノ書ウキイツノ西医宝函ニ出ス

【一五ノ表】

鬼鰻 全体ニ針ノコトキトケ有

武芳異魚譜  
鬼フグ

全体ニ針ノ  
如キトゲアリ

【一五ノ裏】  
アンコウ

【一六ノ表】  
イロアンコウ

アンコウ

クツアンコウ

【一六ノ裏】

対馬アカフグ カサコノ大ニシテ穩ナル形ナリ  
カサコヨリ長シ 色赤シ 尾岐ナシ

【一七ノ表】

越中

カンコウ

【一七ノ裏】  
カンコウ

全身沙ノ如キ者アリ

アンコウノ  
類ナリ 肉白ク  
味甘美ナリ

ガンコウ

【一八ノ表】  
(文字無し)

【一八ノ裏】  
ウミカシカ

【一九ノ表】  
ヒンフク

シビレエイ 一名カツタイウチハ

【一九ノ裏】  
(図・文字とも無し)

【二〇ノ表】  
(文字無し)

【二〇ノ裏】  
(図・文字とも無し)

【二一ノ表】  
マツガサバチメノミコ

イシガニ

ソメワケカレイ

ヒイラギ

【二一ノ裏】

ムクガニ

ワタリガニ

コチダヒノコ

ミヽコチ

コチダヒノミコ

イソギス

【二二ノ表】

ガンコウ

シモフリエヒ

ウミカジカ

ハタハタ

クロカラバチメ

【二二ノ裏】

源八バチメ

源八九十九里 カヽミタヒニ似テ

皮ヲムキテ食フ カレヒノ角  
タチテ居ル形ナリ

ハタハタバチメ

キヤウシンバチメ

炭ヤキバチメ

ツヽノミバチメ

アラヤギバチメ

【二三ノ表】

ヒグラシ

シマエビ

ジャエビ

タイノミコ

スヽメウヲ

マツカサバチメ

【二三ノ裏】

スヽキハチメ

【二四ノ表】

ネコヅラ

クロカラ  
ムツトモ

フクラギ

【二四ノ裏】  
キミジマダラ

ガシエビ

ギンダイ

カラスノコ

カタナギ

【二五ノ表】

ヤマブシカレイ

モツキアヲヤギ

対馬 ガタボウ 身ムナキ

ヨリ短クシテ長一尺位 背淡

黒 身上下二鱗アリ ムナキニ

似テサラツキアリ 人食ス

石カキノ間ナト二居ス

ハギリ

ウミドシヤウ写真

頭少シハセニ似テ 全身ナマタニ似テ短シ

キンボウニ似テ身円シ 全身ヌノソノ鱗ノ  
形アリ 大ナル者尺ニ近シ 口中齒アリ 舌ア  
リ  
三月廿日写之

啓蒙補云 佐州ノガツナキト云者干シテ猫ノ藥  
ト云フテ東

都へモ来ル 形ギンボニ似テ 長サ五六寸ヨリ

七八寸ニ至

ル 石ガキノ細紋脈アリ ウナキヨリ扁シ 又

ノ口ボソト

モ云 人ハ賤ンシテ食フコト无ト云 海ドシヤ

ウニモ近シ

蝦夷譚 ワラツカ一種 サメノ如クシテ細シ

長サ一尺五

寸位ヨリ二尺五六寸 冬ウストアフタノ間二居

ル 肉白ク

タラノ如シ 乾シテ食フ 美ナラス

【二五ノ裏】

按古伊知状似鮠而鱗巨於鮠 口長於鮠 又似鳥

類<sup>ニキ</sup>

大五六寸至 余 秋月出焉 肉白脆 味不佳

最下品也

ヨナコタラ 形円シテヒケナシ

青マタラアリ

マダラノコ

江戸云スケトウ

シマネツリ

モグチ

ソコニベ

ユミノカレイ

今云ヤナキバ

ネヅリカレヒ

【二六ノ表】

シヤガイ

コモチエビ

クルマタイ

ワセ海魚考 形扁ク口大ニシテヒロク紙ヲ張タ

ルカ如シ 腹寛ニシテ氣 浮脹スヘシ 背上腹

下皆刺アリ 背ノヒレ針ノ如クニシテ針ノ側ニ

細ク長キ糸アリテ出ツ 細鱗青白ニシテ淡黒斑

アリ 頭背スコシ淡赤ヲ帯ブ 横腹ノ中心ニ錢

ノ形ノ如キ円紋アリ ヒレ尾白色ナリ

其肉縦ニ裂ケテ刀ニテ剪タルカ如シ

肉白ク味美ナリ 味噌汁ニ煎テ之ヲ食シ 或ハ

軒ニ作ルモ又佳ナリ 日東魚譜

二鏡鯛ト出ツ 関東ニテ

紋鯛ト云ヘルヨシ

食療 クルマタヒ 一名馬頭 頭扁鼻突

出甚以似馬頭 無鱗 肉軟 (皮?) 赤黒色

両脇  
有黒斑点

【二六ノ裏】

カイギウ

シモアシ

カイワリ

クリゲバチメ

江戸云ダシ

マガイ

ハマチ

シマアチ

セイカイハチメ

ハナマル

【二七ノ表】

フナ

越後信濃川 フナ タナコニ似テ二尺位 大ナ

ルハ肉赤 骨柔

同長岡 フナ タナコノ形ナリ 小骨多シテカ

タシ 又黒点多キ者アリ

越前 アブラウヲ アラメトモ云 川ニ居ル

鯉ニ似テ尺ヲ限ル 腹平

切口三角ノ如シ 味フナノ如ク 鱗コヒフナヨ

リ白ク金 アリ 背中黒  
点ナシ

カラスウヲ

クサビ

【二七ノ裏】

タナゴバチメ

キンメハル

小バチメ

鬼神バチメ

黒眼張魚 形同而色不赤 微黒 其大者一尺

余 赤黒二

種共蟾蜍所化也

ハチメ

クロハチメ

アカメハル 一名カメナ

按眼張魚 状類赤魚而眼大瞋張故名之 惟口

不潤 大味甘平 赤ク似緋魚 春月五六寸 夏

秋一尺許 播州赤石

之赤眼張 江戸之緋魚其得名

蜂バチメ

【二八ノ表】

アラヤギモドキ

モトコ

モロコ

ハタ

ソイ

アカホタイ

アマサギ

アカウハチメ

キンメハル

コカネハチメ

キハダハチメ

トラバチメ

按藻魚 状似眼張魚而眼不大 鱗長赤 尾亦赤

無岐 肉淡白 脂少呼甘平 佳諸病不妨 大近

于尺 冬月其大者俗呼曰阿古乎 赤魚之略言軟

最實之 又有白点者 又有漆黒点者黒加羅 藻

魚之屬 形稍短而黒或云加良須 笠子魚 似藻

魚而頭円大口尖長 鱗麤灰白 味稍劣

俗云毛以乎

西国俗云以

曾女波流

【二八ノ裏】

キヤウノヒモ

トウフギス

アカキス

ヲコセノミコ

カイルヲコ

ヲキノジヨノミコ

ウミムカデ

【二九ノ表】

ムマノシタ

ウミドジヤウ

ウシノシタ

ヒメクスナ

ヨソキ

【二九ノ裏】

カイカ

タカバ

ヒバコグリ  
コグリノミコ

タバコカレイ

【三〇ノ表】

マカイ

カキハカマ

シマハタ

ヒラバタケ

ヒヲ

ビシタタ

【三〇ノ裏】

トラフハゼ

トビハゼ

ザトノマクラ

ヲホウヲノコ

イシナキノ子

ウソカレイ

【三一ノ表】

ハチダイ

クモガニ  
エビガニ

ヨロイウチ

ホソウヲ

【三一ノ裏】

キヤウノヒモノミコ

スミノミコ

バイガニ

カジカノミコ

スミヤキタイ

【三二ノ表】

ヒメクツナ 越中

形色共ニアマタイニ似タル名ナリ 尾八似ス

尾細ク尖リテ

其先糸ノ如シ 肉八白クアタマイヨリ少シシマ

リタリ

九月下旬写之

此ヨリ色赤シ

鱗八薄紅ニシテ

【図】カクノ如ク

色板ニホル

物品識名 サンゴウヲ  
大サ二三寸 頭繼の如く  
鱗あらく大なり

(図・文字とも無し)

此魚頭ホラニ似テ全身鱗アラク

中ノ一条銀ノ如シ 腹脇キラ黄青

ニシテ光アリ イワシニモ似タリ 然トモ鱗

カタクツキテヲチズ

寅六月廿一日写之

【三四ノ裏】  
(文字無し)

【三四ノ裏】

越後長岡 コンペイ ヨコサエヒ

ノ如クシテ色黒ク尾長シ

トリエイ

カスベイ

カスエイ

魚商カスヘイト云

【三六ノ裏】

黒缸魚 一種

和名トビエイ

トリエイ

形状見福州府志

又按寧波府志有

地青魚可攷

【三七ノ表】

ワクエイ 越中

【三七ノ裏】

(文字無し)

カンギ

【三五ノ表】

トウボコエ

圓光房

エイ

【三八ノ表】

武サシ

キンメ 羽根田

コグリノミコ 越中

【三五ノ裏】

(文字無し)

身扁ニシテ腹ノ

下刺ノ如シ 全身

小刺ヲ帯テ

口觜ヤカラノ如シ

蘭名スコロハス

【三三ノ表】

尾ノワキニ

刺ノ如キ者アリ

【三六ノ表】

夏秋多シ

ハシ上少シ

長シ

ニタリ 江戸

カタホリ 芸州

ニタリノ尾ノワキノヒレ小ナリ ヒラタノ尾ノ

【三八ノ裏】

カスベ

【三九ノ表】

マエイノ尾此者鼠尾ニ似タリ 元八扁ニシテ先  
ハ

円ニシテ長ク後細シ

【三九ノ裏】

ウシエイ

【四〇ノ表】

シモフリ

メシロハモカ

【四〇ノ裏】

(文字無し)

【四一ノ表】

イセ忠云 ホウツ セイ 方言知ラズ 春月油  
多ク

此魚センキ病ヲ治ス

又云ギンバリ此者欸

九月十八日 黒ハモ ミツハモヨリ味劣ル

骨モコワシ マハモヨリ身円ナリ

ワタムク 小田原ノ方言 ウミマムシトモ云

形蛇ニ似テ黒色 肉白 味美 カハヤキ

ニシテ骨ナシ 三本丈夫ナル筋アリ

此筋ヲヌカサレバ頭尾ヲキリテモ

腸ヲ去リ皮ヲムキテモハネ出ス 筋

テクスノ如シ 鱗ナシ メバルナド凡テ

小魚餌トス 大指位 長一尺五六寸

予按此者ナルベシ

ホウツ 一名アブラコキ

天保十四卯年夏 肥前国彼杵郡  
深江浦 長崎ヨリ西方海路三里

ニシテ伊王島ノ漁民ノ網ニ掛ル

形状寸尺図ノ如シ 塩蔵

ノ物ヲ写ス

【四一ノ裏】

八月廿一日写之

全身淡青ニ雲母ヲヌル赤褐

色少シアリ 躰薄扁ニ白点アリ

沙ノ如シ 腹ノ下短刺鋸ノ如ク

眼ノ内淡青 上嘴大長ク 下嘴短ク齒少シ

背ヒレアリテ尾ニ連ル 腹下ニヒレナシ

尾小岐アリ

写真云 平鮫 一名銀鮫 此魚寛延

元年十月七日 相州三浦領小坪浜

入和羅佐網 長七尺五寸 腮以下肉

薄 似牛舌魚 惣身有白点如鮫沙

未知其味

物品目錄云 扁鮫 形状大抵同皮剥

而大七八尺許 遍身有細白点 其白

微硬如鮫沙 眼大眼眶肉厚甚柔軟

鎌倉海浜採之

【四二ノ表】

アフクコキ 大数鏡曰ノホウツ 蘭名なり

或云 コブの大長なし 老たる者なるヤト云

又其实シルの種類にして生物なり

漁人之を取る時八大に害ありと云

此所胃蔵アリ

腹下銀フシニテ黒シ  
サヨリノ光ニモ似タリ

口中牙齒ハモト同シ

ホウツ 房州

全身細長クシテ

上下ノヒレスシノ如ク

肉ハコワシ

十月十二日写之

【四二ノ裏】

ハマヘビ ウナキニ似テ細長シ

齒アリ

【四三ノ表】

マハモ

ミツハモ 江戸

味アナゴヨリ輕シ

クロハモハ骨堅ク

味稍劣ル

口中齒他魚ト

異ナリ上アコノ中ニ

牙齒四本連ル 下齒

口ノ左右ニ細クシテ連ル

前八上四下二ツナリ

【四三ノ裏】

鈍口 肥前州方言曰州謂之穴波 是形略似海坎而黑色細鱗 性至難死 捕之以蕪菁包其頭 燒火摘食其肉而後故(放力)之水中猶活如故 尾躍入水底 彼州人食之百病不妨 或以是充饗 未知然否矣

海屈知那和

【四四ノ表】

海へビ 一名スマダ

ヲコゼ 山ノ神トモ言

フイゴ祭ノ居

備モ 成ヌ

甚見苦シ

キ魚ナリ

【四四ノ裏】

湖魚図説にカニクイウナギ 首小にして身太く口中紅色にして 肉ひれ黒く其余異なし 大き二尺四五寸の者あり 巖穴石垣等の中に潜て出ることなし 能飛て人を噛む 味甚美なり 物品識名 カニクイ シヤウナギ 長さ二尺斗り 円く太し蘆間などに居てカニを食ふ

嶺南雜記云 蘆鰻産海辺随潮登岸 笋 潮退深

田

中不能去方可得 有重一二斤者全似鰻而身短背黒有 類鳥鱧 味極肥美 余于惠来果食之不可

掌得

異物志云 蘆鯨魚似鱧蝥而有細文 多膏肥美大如蘆管 本出地中随泉浮出 俗名蘆鯨 南越志云 蘆鯨魚生山曲之間穴地為窟泉源踊則此魚出 今蘆陵以南至子南州有焉 俗以為醬

辰行云 七月下旬八月頃とる 出水の節なり 口のわきに短ひげあり 口尖りて細く背の処にあじろを組たる如き斑文あり 又背ひれの下の処に黒色を帯ぶ 眼大して赤し 是ら皆常のうなぎと異なる処なり 其性鈍にして強し 或水上に飛躍ることあり

【四五ノ表】

龍頭魚 一名飛魚

其頭如龍

ホソヨリ

伊勢タウヤク

夏沖ニテ釣ル 長一尺二寸位

口尖 鱗ハタヒヨリ細ク身

タヒニ似テ扁ク薄黄赤色

病人之ヲ食フ

又キノシヨノミコ

キトウシ 伊豆

アカサギ

カニクヒムナキ 七月下旬八月トレル 出水ニ付故ナリ

口ノワキ短ヒゲアリ 口尖細ク背ノ処エ アシ

口ノ如斑文アリ 背ヒレト背ノ間 黒色アリ

其性ノロシ

七月廿五日写之

【四五ノ裏】

朝鮮物産図 享保六年 御とりよせ

鱧

セヒレ

キイロ

ハラ

薄キイロ

【四六ノ表】

(文字無し)

【四六ノ裏】

ホウヅ 一名アブラコキ

天保十四卯年夏 肥前国彼杵郡深江浦 長崎ヨリ西ノ方海路三里にして伊王島 の漁民の網に掛る 形状寸尺図の如し 塩蔵の物を写す

【四七ノ表】

(図・文字とも無し)

【四七ノ裏】



蠟ろう 土俗トウジン亀

大小も有よし 予か見たる所八寸尺の如し

相州田戸ノ産

角ナシ螺

ヤハラカニ

甲之図 六寸

巾着蟹

背之図

九寸

三稜にして櫻欄葉の茎の如し

右左トモ 狭ミ折テ

無シ

座頭鯨

背美に次て上魚也

尤子を思ふ事深く

鮮アミを食ふ

大八惣長廿四尋 中八十尋 小八六尋

斗也 長廿十四尋なる八油三百四五十樽

斗を得るとなり

【四九ノ裏】

クラゲ

ヨクリカンキリ

水クラゲ

【四八ノ表】

テンホウガニ

【五〇ノ表】

赤クラゲ 又シヤクマクラゲ

銀カニ

鼓クラゲ

藻カニ

四ツ目クラゲ

【四八ノ裏】

(文字無し)

クラゲノ別種イラト云者ノ 類ニシテ毒アリ 人之ヲ取レハ手針 ニテ刺力如クハレイタム

【四九ノ表】

如図異躰ノ品螺殻ノ内ニ有

俗ニ言宿借ノ類成ベシ

【五〇ノ裏】

ホウライイカニ

魚介図

【表 一】

肥前大村二而写  
錦魚  
チサメトモ云  
ギサメ

於大坂 雪旦写  
鱧 八モ 大キサ三尺位

マナ鯉  
一尺三四寸位見ル

ニシキ魚

【表 二】

於豆州修禅寺村  
以生写之  
鮎

イトヨリ鯛

笛吹鯛

カ、ミ鯛

方言  
的魚  
カネタ、キ

ヲホコ

鯖

【表 三】

アイナメ  
鯛  
コチ

梭魚  
カマス

艦魚  
ヲコゼ

ギチ

トラキス

クジメ

ウグヒ

カサゴ  
アンホンタン共

【表 四】

於勢州宮駅写  
鮓 スハシリ  
九月七日写

肥前蛭ヶ浜ニテ写  
寫鮓 シマアシ

鱻魚  
姜公魚

細魚  
サヨリ

【表 五】

比目魚 鰈魚 版魚  
ヒラメ

鱈  
ムツ

【表 六】

鯖  
サハラ

マス  
鱒魚 鱻魚 赤眼魚

【表 七】

鰯 プリ  
少サキ  
イナタ  
又少

ワカサ

四鰓魚 天下鱸皆兩鰓

ス、キ 惟松江鱸四鯤

鱸  
コチ

【表 八】

タカノ羽鯛

カン鯛

シマ鯛

【表 九】

イボゼ

小鯛

宝曆五乙亥年

十一月中旬以生写之

エヒス鯛

雪洞写 再写

鯨

俗三石カレイト云

エソ

メバル

【表 一〇】

鱈

サケ

鱈  
トビヲ  
\*ルビ「エウ」

ス、キ

イルカ

鱈  
フカ

鱈  
ヲコジ

鱈  
エヒ

養  
マナガツヲ

海鰻

ハモ

タチヲ

鱈魚

鰻  
ムナギ

ハメウナギ

鰐  
八二

馬鮫  
サワラトモ云

カフトカニト云

大キサ サシワタシ一尺ホト

海馬

【表 一一】  
ワカサ

鮭  
スバシリ

浮津鯛

アマダイ

彩色

赤過

石首

イシモチ

鰻魚  
トヒウヲ

寫鮫  
シマアジ

鱈残魚 銀魚  
玉余魚 水晶魚  
白魚

カシラノ上  
平タシ

【表 一二】

鱧カサエヒ カラエヒ カレヒト云

寛永九年四月上旬

コノハカレイト云

コハダ

鱒コノハカレイト云

鱒

コノシロ

鱒

イワシ

ヒシコ

ハエ

【表 一三】

水母 海蛇

海月 石鏡 樽蒲魚

クラゲ

鮎 芸州広島ニテ写

大キサ如図

国主ヨリ塩又于

鮮ナソニテ

献上ニナル

鮭

シヤケ

水クラゲ 大キサ如図  
海中凧日浮キテ流ル、

【表 一四】

アコウ

カナカシラ

小鱸

セイゴ

冬十月写

塩サンマ

関東ニ多シ

アマ鯛 黄槽魚

方頭魚 興津鯛

鱈

タナゴ

雪旦

十月写之

【表 一五】

大ナルシビ

鰻

マクロ

大ナル五六尺

カジキ

大キサ

五六尺

鱈

二ハ

大五六尺

カナヤ

九州ニテ

多ク有

大キサ 三尺クライ

【表 一六】

鮫鱈 大キサ如図

天保三年辰十一月写

【表 一七】

鮭イサ 丈二尺位 谷川生湖水ニ住 又大海ニ出ル

八タコニ似

鰻アイソトモ 俗腹赤ト云

天保九年戌四月千台侯御船ニ 飛上ル 右魚生  
写 神田川峯村理兵衛持来ル塩魚写

【裏一】

アナゴ

タチウオ

鱈魚 鮫

鰯 望

魷 鱧

鱧刀

【裏二】

延宝三年

伊東ニテ写之

俗ニタイノムコト云

エヒスタイ共

ウミスゝメ

海雀 ウミスゝメ

針センホント云

越中村上之海ニ有之

【裏三】

飾磨沖ニテ取ル 享保十四年九月朔日

以生写之

ゴハンケ魚

舟子トリ

又コバン魚トモ云

両品トモニ無鱗魚也

ヲコセ

ヲキヲゴセ

チンナリ

延宝八年寒中旬

以生写之

【裏四】

毛龜

トウカメ云

魚カメトモ云

ウラ白シ 鱗大黄色 鰭表同 下口黒シ

横鯛

享保七壬寅年三月十日

以生写之 色黒ク鱗細

鰭尾先少黄 目ノ上鰓

白 訓蒙図彙無之

小田原有 目ノ内青ク

齒細背ニ白キ骨有

鱗ノ内ニ筋有

【裏五】

鱧残魚

キヌ

螃蟹 雄娘螳

雌博帯 郭索

無腸公子

ウシノシタ

鞋底魚 閩書鰈魚

又水カレイ 左目明ノ右目晦

鰻

【裏六】

蟹<sup>カニ</sup> ウミカニ

鉞太写生

古図有写

【裏七】

蟹<sup>カニ</sup>

ベンケイカニト云

俗ニ豆蟹ト云

沢蟹

貞享ニ乙子林鐘晦以生写之

蝦<sup>カ</sup>姑<sup>コ</sup>

サクナゲ

俗云シヤクハ

イシカニ ハサミカニトモ云

【裏 八】

手長海老

クルマ蝦

雪堤写

八丈鳶

蝦 エビ

鮎 アユ

於日光山写之

手長海老 雪堤写

【裏 九】

テナカ蟻

俗ニチヤコト云 種々ノ魚子也

川エビ

クルマエビ

海老トモ書

俗ニカマクラ蝦ト云 イセエビ共

川蝦

【裏 一〇】

泥鰌 泥鰌

鰯魚

ドゼウ

古画図摸ス

鮎 アユ

鮎 鱈 藻フシモミチフナ \*魚に脊・同  
に賣

俗ニ源五郎鮎ト云

鰻 鱧 白鰻

蛇魚 又ムナキ

【裏 一一】

アマメ

鮎 フナ

カナギシ 川魚

カナキシ 奥州本宮ニテ写

サンシヨノイヲト云

鰻 カチカ

鯢 ギ、

アユ

【裏 一二】

コジコ 大ナル八七寸クライ  
武金沢ニテ写 雪旦

ワタコ

六七寸

位ヨリ

内多ク

見ル

江州湖水多シ

和州永久寺

池ニモ有

琵琶湖産 源五郎鮎  
以生写之於石山寺門前

大ナル八一尺五六寸クライ

ヤマメ 於日光雪堤写

ヒメシ

ギミギ

【裏 一三】

人魚 大キサ一尺五寸余

二百年以前 加奈川ヨリ川崎間ニテ上ル事申伝  
天保四癸巳年三月 神田鍵伊右衛門ヨリ来

【裏 一四】  
(図・文字とも無し)

【裏 一五】

秀政君御頂戴小笠原家重宝

唐津侯所宝 帛中豎五尺ホト

横巾二尺八寸ホト

文政五歳壬午次秋八月上旬

於唐津雪旦摸之

陳所翁図 正筆

【裏 一六】

尾州様御所蔵

雪旦再摸

所翁

帝所

於毫茫握天瓢於

漢而霖雨斂神功

接崑崙之氣脈決河

【裏 一七】

尾州宮駅御本陳(陣)二

魚類譜

【表 一】

鯨 クジラ

黒

七八尺ホト

鯉 鰯トモ

大魚喰

一丈ヨリ一丈四五尺

児

五尋クライ

座頭

七尋位

コト

大キサ大魚喰同様

イルカ

七八尺ホト

シヤチ

サカナ

一丈ヨリ一丈四五尺

【表 二】

児鯨図

但勢美ニ似テ小ク髭白シ

背美

七尋

白キ所八カキ殻也

【表 三】

雑頭鯨図

但雑物ノ中ニテ上ト云事也

右類之内

真雑頭 ノウサ

是ヲ ノンコ共云

マツコ

真向

【表 四】

長須鯨図

但雑物ニ似テ長シ

長須

十五尋クライ

【表 五】

勢美鯨図 勢比共

【表 六】

鯨 於唐津雪旦以生写之

インモン 長サ六尺ホト

乳

後モン

インノウ

タケリ

長サ

九尺ホト

腹中有 キン玉ト云

【表 七】

網 タイ

棘鬣魚 吉鬣髻

奇、過臘 赤鬣

平魚 桜鯛

黒鯛 カン鯛 プ鯛 鏡鯛 アマ鯛

糸奇鯛 笛吹鯛 エビス鯛 鷹ノ羽鯛

小鯛 シマ鯛 横鯛

【表 八】

黒鯛 クロタイ

【表 九】

鯉 コイ 以生写之

【表 一〇】

鯉 為魚王

有五色名曰

赤驥 青馬 黒駒

白騏 黄雌

一種通身紅如金曰金鯉  
尾如鳧或三岐兩岐曰金鳧魚  
赤鯉ヲ俗ニヒコイト云

白鯉

【表 一一】

鯉 コイ

【表 一二】

古画写 鯉

古画鯉

【表 一三】

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

鮎 鯉 鯉

同様

【表 一六】

シマ鯉 カツヲ

【表 一七】

鯖 サバ

鯉 カツヲ

【表 一八】

大キサ一尺三四寸  
一面小鱗有 艶白ヒカリ也  
魴魚 マナカツホ

文政元年寅八月 於大坂雪旦写

【表 一九】

鱈魚 ヲコシ

豆州伊東ニテ写

豆州ニテ三島女良ト云

此魚三島明神奉ユヘカ

山之神大山スミノ命也

伊東写

ホウボウ

魴 魴

【表 二〇】

華臍魚 老婆 綬 琵琶

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ

アンコウ



【表 二二】

猫鮫 天保三年辰六月写之  
大キサ二尺余

鮫子

ギン  
サン

惣躰松魚仕立ニテヨロシ  
腹八銀クマ也 背コン也

【表 二二二】

毛魚

赤魚

アコウ

ウキ、

楂魚

俗満方

芝海老

【表 二二三】

河鮠

シヲサイ鰻 アカメト云

チャウ

梭魚 鯰  
カマス

イハナ

カナガシラ

【表 二二四】  
魴魚 鰻魚

魚鑑ニカミミダヒ漢名魴魚トアリ(朱書き)

鰻  
ボラ

ホシガレイ

【表 二二五】

ヤカラ

髻魚 載帽

生海鼠

海參

海男子

ナマコ

烏賊

イカ

【裏 一】(ワニの頭の図)

齒三十六枚

角ノ膚

長サ二寸斗

牙ノ様ナルモノ

高四寸

耳

如鱗

貞享三乙寅林鐘中旬写テ 二而之  
天保三壬辰次十一月下旬 雪堤画

【裏 二】(ワニを上からみた図か)

鼻

髻ノ跡

目

此間九寸

角跡

六寸

此間五寸五分

【裏 三】

応龍又飛龍 雪日図

【裏 四】(龍の図)

雪洞図

【裏 五】(龍の図)

(文字無し)

【裏 六】(龍の図)

於日光 金宗秀写

【裏 七】(龍の図)

雪嶺図

【裏 八】

摩喝魚

マカツキヨ

禅宗ニテ用フ

クワヘタル八玉

【裏 九】(龍の図)

(文字無し)

【裏 一〇】(龍の図)

根津本寿寺本堂拜殿天井 四間三間四方

文政七歳甲申六月図之 奇府内陳 天井天人高

崎屋牛長君奇進ニテ画

【裏 一一】

駒込龍幸寺境内出ル蛇骨之図

文政八歳酉次十一月廿六日 雪日写

大キサ如图 色骨色ニ而白茶  
上ヨリ見ル図 尾頭上へアカル

【裏 一二】

雨 俗云 阿末礼宇

螭龍 アマリヤウニ八角ナシ

アマリヤウ

長サ二尺ホト

龍 タリヤウ

御宮輪蔵御内側

大虹梁裏之方

金地浪二龍

泥

【裏 一三】

泥亀 備後神辺ニテ写

午三月十六日

水カキ

裏

ウラ白

所々黄色

雪日図

鯨 シヤチ

撰州西之宮ニテ写

海亀 食スル也 甲真黒 大キサ一尺余

スツホンヨリ 首エリ黄色フ有

味有ト云 石亀ヨリ頭大キシ

【裏 一四】

秦亀 イシガメ

貞享元年十月十八日 以生写之

【裏 一五】

古図有之貫横

カメ下地白 禄生又リ

【裏 一六】

銭亀

亀 カメ

海松

古キ甲エコケ付也 如此蓑亀似タリ

玳瑁 タイマイ 大海生ス大亀

【裏 一七】

海膽 カイタン 兜貝 ウニ貝

トビ貝 コヤス貝 芋貝 紫貝

磯辺小貝ルイ サクラ貝

蠣 キセル貝 ウツラ貝

扇貝 嫁ノクシ貝 モミ子貝 香箸貝 児貝

ス貝 梅貝 アツキ貝 藤ノ花貝

日貝 赤貝 雪洞図雪英写

蛇貝 波ノ子貝 簀貝 琉球サンゴ ウチハヤギ

払子貝

ホツスカイ

江之島ニテ以生雪旦写

長サ三尺余

【裏 一八】

辛螺 蓼嬴 赤田螺 アカニシ

大キサゴ

俗ニダニバイト云

小キサゴ

松貝 スミ貝 菊石

栄螺

サヅイ

磯ゴ貝 トコ貝 千鳥貝 振袖貝 ス、メ貝  
ヒゲ貝

【裏 一九】

蜆

海燕 俗ニタコノマクラト云

シヲフキト云

蛤ハマグリ 蜷アサリ

魁陸 鮎 アカ、イ サルボウ云

瓦甕子 アカ、イノ少サキ也

ウツラ貝 トリ貝 寄虫ゴウナ

俗ニヤドカリト云

【裏 二〇】

タイラギ

鰻 ヲカイ メカイ

石決明

小辛螺 鰯 バヒ ヒイカ

アカニシ

海松 蛭 マテ 八奇貝

ミルクサ

【裏 二一】

タイラギ

鮑 鰻アワビ トコフシト云

鍾馗貝 淡菜海蛸

西施舌 ミルクイ

【裏 二二】

文政六癸未年二月五日

肥前国唐津領唐房ノ海辺ニテ

得 死落テ着 腹中ニ鯛四枚有

雪旦写

海獺 アシカ

両 ノ類カ 名ツマヒラカナラス

頭ヨリ尾マテ

長サ九尺

胴廻

六尺ホト

鰭

二尺

足ヒレ

一尺五寸

毛ナミアザラシニ似

インノウ

爪

文政十三庚寅歳正月

肥前長崎湊ニライテ  
以鉄炮打留

此黒キ所 有之 皆同

【裏 二二三】

海鷗魚 邵陽魚 アカエ々  
荷魚 鱻魚 鮪魚 蕃躰魚 石蠣

河豚 鯨魚 鯢魚 鯢

吹吐 気包 西施乳 鯨 縹魚

杜父魚 道満

沙魚 シマハゼ 種々有説

小鱈 文政八酉年写製

【裏 二二四】

章魚 章拳 蛸 魚 八梢魚

烏賊 烏鰯 黒魚 鱻魚 柔魚

イ、タコ

タコ イカ腹中ニ有 カラストンビ

イ、タコ 望潮魚 章拳

(公文書専門官)